

無線機を利用した緊急放送システムの導入事例

職員間通信(一斉&個別呼出)、放送、全体一斉(職員間一斉通信&放送)、
そしてボタンの一発長押しにより緊急発信(警報、職員一斉&放送)ができます
細部(詳細仕様、使用法など)につきましては、下記までお問い合わせ下さい

2005/08

親機/コンソール = S001 =
親機として子機と交信もできますし、放送卓
あるいは回転灯などの制御機能を有します



具体的には、このように放送室に設置します
優先(割り込み)放送ができるように配線します
職員室の回転灯へも、ここから配線します



赤色回転灯(ブザー付き)
職員室には、緊急を音と光で知らせる
回転灯(ブザー付き)を設置します



リピータ(中継器)
飛距離の確保と、混信防止を目的に
リピータ(中継器)を採用しています
(無停電装置を併せて採用)
ローカルの学校敷地内+@を十分カバー



子機 常に身につけていただけるように
通常のベルトクリップ以外に、肩掛けの袋(布製)をご用意しました



ここで使用している無線機について
免許など煩雑な手続きは一切不要の
業務用特定小電カトランシーバー
(防水型)を採用

レジャー用のものと違って、丈夫で大音量、そして
電波もよく飛び(2倍くらい!)、防水により無線機
故障の9割を占める原因が除去されます
形状が少し大きいため、常に身につけていただけ
るように、肩掛けケースを特注で作りました
同型の標準品では、ここにご紹介している使い方は
できません(外観/ハードウェアは同じですが、
ファームウェアを別途作成しております)